

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2016年11月 | トップ | 2017年01月 》

検索

2016年12月21日(水)

 検索

原発コストの国民負担をいう前に

アーカイブ

東京電力福島第一原発の事故処理費が21.5兆円に膨らんだ。国の試算が見直されたその内訳は、
 廃炉 : 8兆円へ
 賠償 : 7.9兆円へ
 除染 : 4兆円へ
 中間貯蔵 : 1.6兆円へ
 である。3年前の想定11兆円のおよそ2倍である。廃炉費用に至っては4倍だ。
 しかも今回の試算の根拠は曖昧で、これで足りるという保証もない。メルトダウンした核燃料(デブリ)の事故炉内部の詳細は未だ不明、前例のない取り出し作業を控えている。本当に取り出せるのかもわからない。

大幅に膨らみ続ける廃炉や賠償費用をどう捻出するか。事故をおこした福島第一の廃炉費用は青天井だが、問題は他の電力会社にも通底する。もともと原発の廃炉費用は、電力会社が電気料金から賄う仕組みになっていた。
 廃炉には、1基当たり400~800億円程度の廃止措置費用がかかるとされ(ちなみに火力発電の場合は30億円程度)、電力会社は費用(引当金)を積み立てることが義務づけられている。
 電気事業法は40年間で積み立てが完了することを想定していたが、既に運転期間40年をむかえ廃炉の決定した日本原電敦賀1号機、関西電力美浜1号機、2号機では積立額は数十億~百億円近くが不足しているといわれる。
 (関電が、高浜1、2号機など40年超えの老朽原発の運転延長に血眼になるのも、むべなるかなである)

東京電力福島第一原発の廃炉や賠償、全国の原発の廃炉などの費用の負担について検討するため政府・経産省は、有識者の会議を今秋相次いでスタートさせた。
「東京電力改革・1F(福島第一原発)問題委員会」(略称;東電委員会)、
<http://www.meti.go.jp/press/2016/09/20160920007/20160920007.html>

「電力システム改革貫徹のための政策小委員会」
 (さらに財務会計と市場整備の2ワーキンググループをおく)
http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/kihonseisaku/denryoku_system_kaikaku/001_haifu.html
 である。年内にも基本方針を決定し、来年早々の通常国会で法令改正をねらうという超スピードスケジュールだ。

12月14日、第7回「東電委員会」にて**東電改革提言(原案)**が出された。
http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/energy_environment/touden_1f/pdf/007_01_00.pdf
 一読したところ、東電の改革理念が麗々しく述べられ「発災事業者の自覚」をうながし廃炉・賠償の役割と責任に言及されているが、最も注目すべきポイントは、「賠償制度が不備な中で福島原発事故が発生したことに鑑み、積立不足分を全需要家から公平回収する」のくだりである。
 賠償資金は、事業者の負担という原則は変えない。ただし、(2011年に原賠機構法で追加措置を行ったが)原発事故への対応に関しては準備不足だったので制度不備を反省しつつ、電力の全需要家から公平回収する仕組みを検討する、というのである(P.8の⑥)。

東京電力への追加支援を電気料金への上乗せによっておこなう仕組み

- 2017年01月 (1)
- 2016年12月 (1)
- 2016年11月 (2)
- 2016年10月 (1)
- 2016年09月 (1)
- 2016年08月 (2)
- 2016年07月 (4)
- 2016年06月 (2)
- 2016年05月 (1)
- 2016年04月 (3)
- 2016年03月 (2)
- 2016年02月 (3)
- 2016年01月 (2)
- 2015年12月 (4)
- 2015年11月 (2)
- 2015年10月 (1)
- 2015年09月 (3)
- 2015年08月 (3)
- 2015年07月 (2)
- 2015年06月 (2)
- 2015年05月 (2)
- 2015年04月 (2)
- 2015年03月 (2)
- 2015年02月 (2)
- 2015年01月 (5)
- 2014年12月 (3)
- 2014年11月 (2)
- 2014年10月 (2)
- 2014年09月 (2)
- 2014年08月 (1)
- 2014年07月 (2)
- 2014年06月 (1)
- 2014年05月 (3)
- 2014年04月 (4)
- 2014年03月 (3)
- 2014年02月 (1)
- 2014年01月 (3)
- 2013年12月 (4)
- 2013年11月 (1)
- 2013年10月 (3)
- 2013年09月 (5)
- 2013年08月 (1)
- 2013年07月 (3)
- 2013年06月 (5)
- 2013年05月 (3)
- 2013年04月 (2)
- 2013年03月 (6)
- 2013年02月 (2)
- 2013年01月 (3)
- 2012年12月 (2)

(後述)の導入が画策されている。税金の投入だけではなく。

※東電の資金繰りを助けるため、政府と大手電力会社などが出資して2011年に設立された国の認可法人「原子力損害賠償・廃炉等支援機構」がすでに支援している

「電力システム改革貫徹のための政策小委員会」は、電力自由化の課題などを議論する場だが、ここでは電力9社が保有する通常の原発の廃炉費用について、すべての電力利用者に負担を求める方向で検討をしている。
ドサクサに紛れて、の感があるが、廃炉費積立不足金などの原発コストを託送料金に転嫁しようというものだ。

しかも、原発を保有しない新電力にも費用の一部を負担させる案を提示した。電力小売り事業に参入した新電力は大手電力会社の送電網を使って顧客に売っているのだから、その使用料(託送料金)に廃炉費用を上乗せするというものだ。
その後も費用が不足すれば、利用者の負担とし自由に上乗せ、徴収できるとの内容も含まれているという。

今年4月の電力自由化で、できるだけ原発に依存しない新電力に契約変更した消費者にとっては、納得のいかない話だ。
たとえばわが家(sora)でも、関西電力から地方の小規模な新電力に切り替えた。そこに所定の書類を届けなければいけなくて、いとも簡単だった。1年契約だから別のところに替えることも可能。
申し込み時、お宅は電力使用量が少ないので料金割引のメリットはありませんよと念を押されたが、それは承知の上(使用量が少ないのは太陽光発電併用と節電のため)。原発を推進する関西電力から電気を買いたくないだけのこと。

さらに経済産業省は先ごろ、石炭火力や原子力発電所で発電した安価な電気(原発は事故処理や廃炉費用を除けば発電コスト自体は低い)の一部を、電力自由化で新規参入した事業者(新電力)に供給することを大手電力に対し、義務付ける方針を明らかにした。
2020年度以降、新電力が安い電気を調達しやすく、電気料金の引き下げを支援すること。経産省は東京電力福島第1原発事故の賠償費用を新電力にも負担させることを検討しており、国民の理解を得る狙いもある。
「原発由来の電気なんかいらん」というのに。

電力会社が所有し責任をもっていたはずの原発。その廃炉の費用、原発で起こった事故の費用、賠償費用などすべて、電力を使わざるを得ない消費者全体にツケを回そうとしているのだ。
本来は事故を起こした東京電力が負うべきところ、国民が(電気料金として)負担する理由は明らかでない。政府の言う「過去原発の安い電気料金の恩恵を受けて来たはず」だの「賠償金増加分は標準的家庭で月に18円程度に過ぎない」だの、まったく国民を愚弄するものだ。

要は、東電救済と大手電力会社優遇の策であり、原子力発電固有のコストを電気料金に上乗せし、国民負担に転嫁する仕組みが整うこととなる。「当面予定されているのは廃炉コストだけだが、この仕組みを他の費目にも当てはめていくことは簡単である」

※原子力市民委員会「声明」
新たな東京電力救済策・原子力発電会社救済策は正当化できない
(12月2日)

http://www.ccnejapan.com/20161202_CGNE.pdf

そもそも、「原発のコストは安い」と政府や電力業界は主張し続け国民はそれを信じこまされた。今、事故を起こした東電はいうまでもなく、原発を持つ大手電力も今後の廃炉工程で必要となってくる諸経費の増大をまかなえないことがはっきりした。廃炉費用の負担を利用者(国民)に求めること自体、原発コストの安価論が根拠のない神話であったということにほかならない。

原発が止まっても日本はやっていける、とこの5年間で実証されている。事故処理や廃炉の費用の国民負担を云々するなら再稼働をやめよ、と言いたい。
原発政策のあり方を見直し、脱原発を掲げることこそが先決であろう。

福島原発事故の責任を蔑ろにして、原子力推進の政策を押し進め「託送料金」で費用回収ができる仕組みを、しかも国民に十分知らせないまま導入することなど、許されない。

※原発のコストについては、このブログでも何回か取り上げてきた(2013年2月17日、2014年7月5日など)。

- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)
- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
コメントありがとうございます by sora (12/05)
突然すみません。東京 by 里美(11/22)
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
starさんコメントあり by sora (09/14)
このブログを読むまで by star(09/13)
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
現在稼働している大飯 by star(04/09)
廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2016年12月 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

最新記事

- 引越しのお知らせ(01/08)
- 原発コストの国民負担をいう前に(12/21)
- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)

2016-12-21 | 記事へ | コメント(0) |

老朽原発・関西広域連合へ
要望書と和歌山県との話し
合い(07/17)

SCHEDULER

ナビゲーション

[トップ](#)

[RSS](#)

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

RSS 2.0